

地域自主組織『なわのわ』 旧保育所に「ものづくりスペース」をつくり 「みる」「みぐる」[共有する] の三つの循環をめざして

活動が2年目に突入した『なわのわ』です。「なわほ（旧名和保育所）」を拠点とし、「集まる」「つながる」「やつてみる」の3つがゆるやかに循環する場づくりに取り組んでいます。

「a. つくり方を学ぶ」「b. つくるための道具とスペースがある」「c. そのノウハウを共有できる」環境づくりに取り組むことにしました（年内にはカフェスペースも併設予定）。



- 【「つくるくる」はじめました】
- 今年度は、テーマの一つである「つくる」活動の一環として「つくるくる」事業を始めました。
- 【「つくる」ためのツール続々入荷!】
- では、実際「なわほ」では「何をつくることができるのか?」といいますと、現状だと次のような道具（ツール）を取り揃えています。
- ①スライドのこ：木材を切つたり
 - ②本棚づくり等の日曜大工で
 - ③蒸留器：ハーブや柑橘類を使って「アロマウォーター」づくりで
 - ④レーザーカッタ：木材やアクリルなどの素材をレーザーで切つたり刻印したり
 - ⑤3Dプリンター：「人形」やサンプル商品など立体的な造形物のプリントを

- 【小さな場を、積み重ねて】
- コロナ禍とともにあり、年度当初の計画通りには動けていないのが実情ですが、そんな中でも町のガイドラインに沿い、衛生面に細心の注意を払いながら、6～7月の「なわほ」では、小さな場が開かれてきました。
- 【問い合わせ先】
- なわのわ事務局
- ①070-8507-2997
(大見謝)

- ①つくり方がわからない
②つくるための道具がない
／作業場がない
これらは、昨年度の活動のなかで見つけた困りごと。その解決法として

- 各ツールを使って、老若男女がものづくりに挑戦できる講座（ワークショップ）の準備も進めていますので、乞うご期待！
- また、「なわほ」を利用する皆さんにあわせて、新たなツールの

- 全国どこからでも参加OK、実況配信でその場の様子が観られる「リモートミニ四駆大会」。大人が自由研究を発表しあう「自由研究学会@なわほ」。懐かしの曲に耳を傾ける「蓄音機で聞くSPレコード」。テーマに合わせて本を紹介しあう「ほんのわ」。これらは、個人や団体が「なわほ」

- ※facebookページ『なわのわ』で随時更新していきますので、最新のイベント情報などはこちらからご覧いただけます。
- ④nawanowainfo@gmail.com



▲3Dプリンターを使うと、こういった人形（プラスチック）も作れます



▲「蓄音機で聴くSPレコードの様子。蓄音機については講師の解説付き